

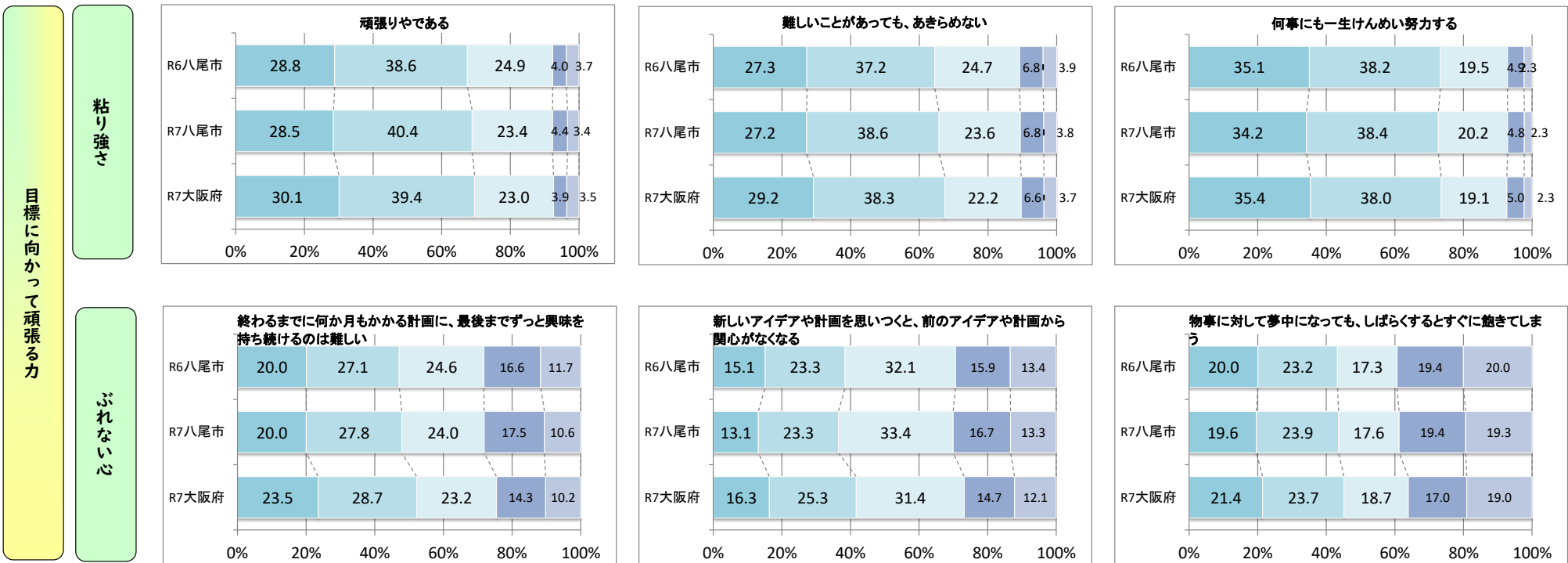
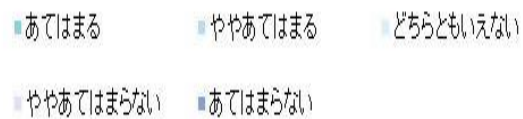
令和7年度 小学生すくすくウォッチ 児童アンケート結果について（未来に向かう力）

<児童アンケートについて>

※グラフ内の数値は、無回答はデータに反映していないため、合計値は100にならない場合がある。

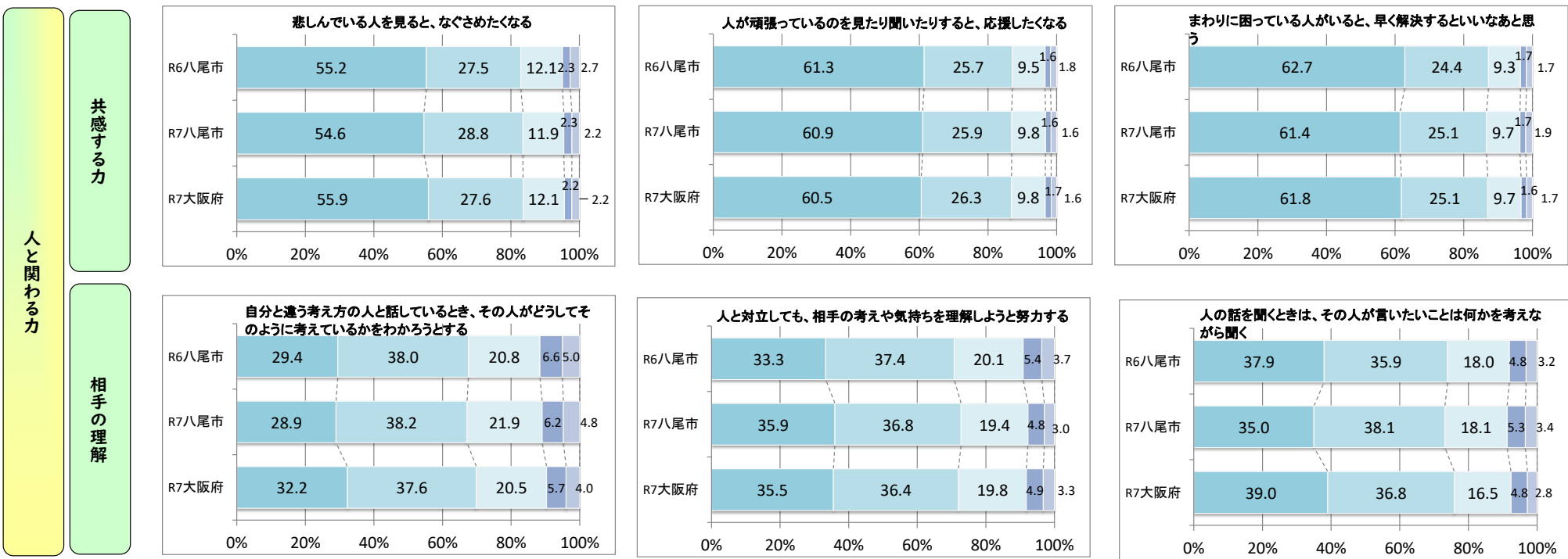
※74設問のうち、「未来に向かう力」（「目標に向かって頑張る力」、「人と関わる力」、「気持ちをコントロールする力」、「好奇心」）に関わる項目を中心に記載している。

※○は成果、◆は課題、□は考察を記載しています。



【目標に向かって頑張る力について】

- 「粘り強さ」に係る「頑張りがやである」「難しいことがあっても、あきらめない」の設問の肯定的回答の割合は、昨年度の平均を上回っている。
- ◆「粘り強さ」に係る「何事にも一生けんめい努力する」の設問の肯定的回答の割合は、昨年度および大阪府の平均よりも低い結果となった。
- 「ぶれない心」に係るすべての設問の肯定的回答の割合は、大阪府の平均よりも高かった。



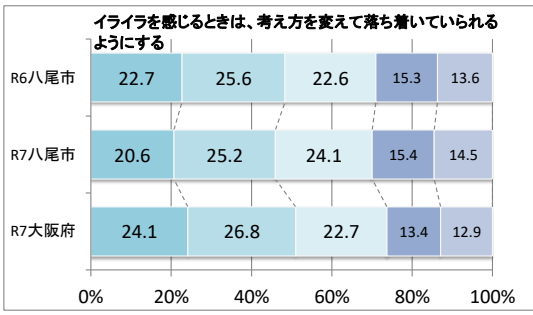
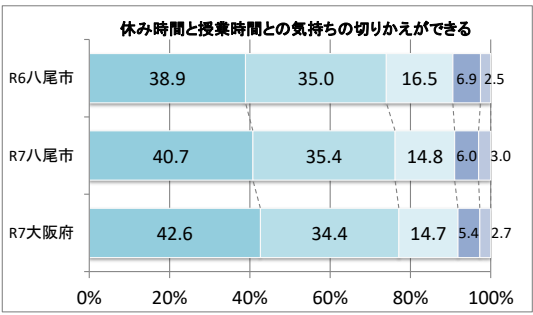
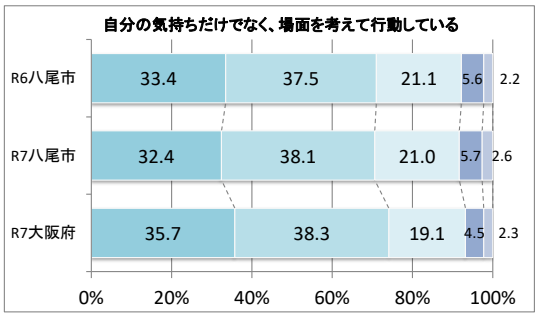
【人と関わる力について】

- 「共感する力」に係るすべての設問の肯定的回答の割合は、平均が8割を超えた。
- 「相手の理解」に係る「人と対立しても、相手の考えや気持ちを理解しようと努力する」の設問の肯定的回答の割合は、昨年度および大阪府の平均よりも高い結果となった。
- ◆「相手の理解」に係る残りの2つの設問の肯定的回答の割合は、昨年度および大阪府の平均よりも低い結果となった。

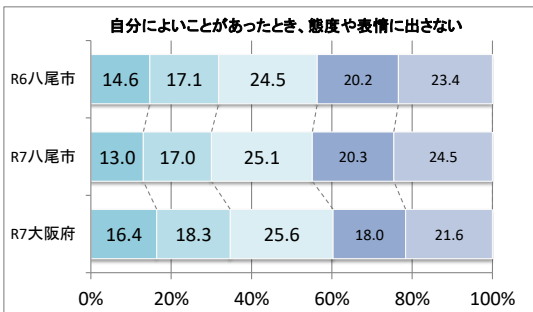
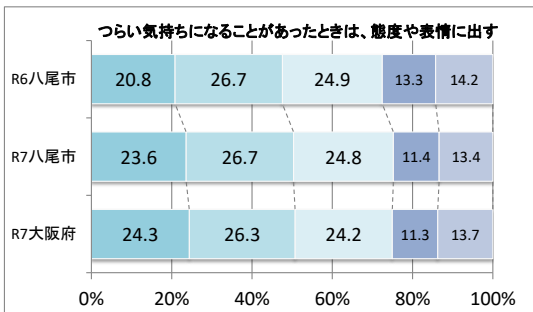
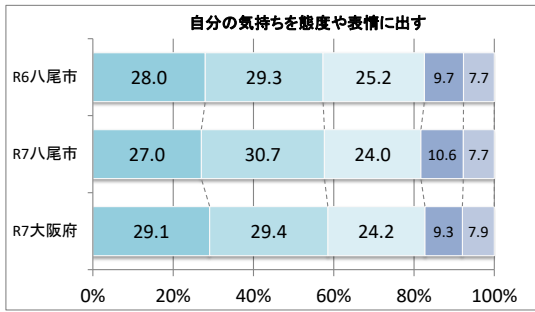
令和7年度 小学生すくすくウォッチ 児童アンケート結果について（未来に向かう力）

気持ちをコントロールする力

切り替え



落ち着き

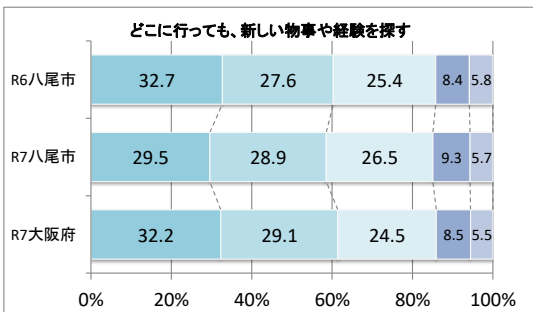
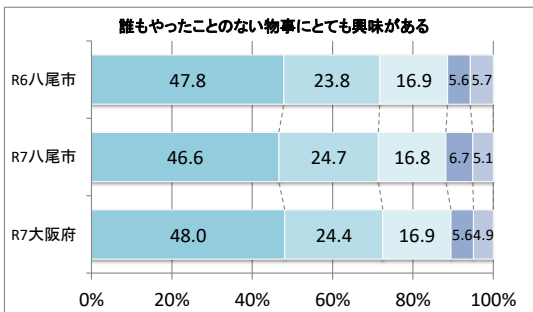
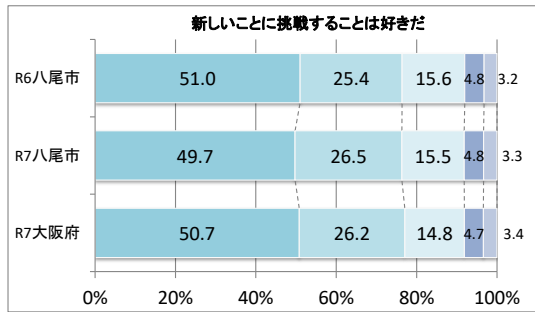


【気持ちをコントロールする力について】

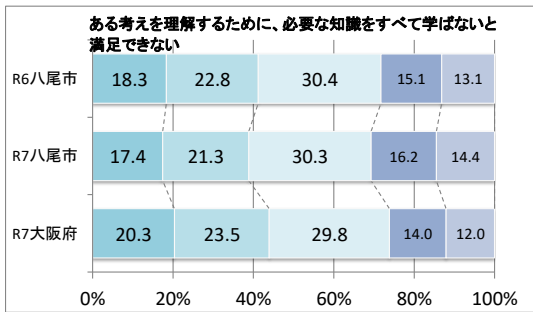
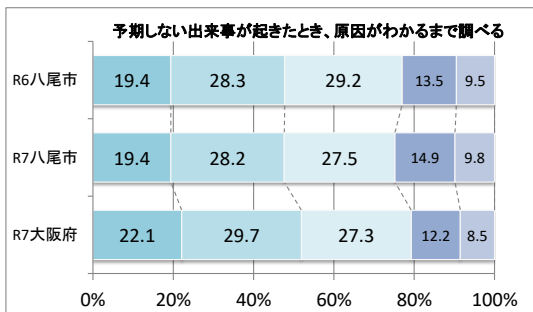
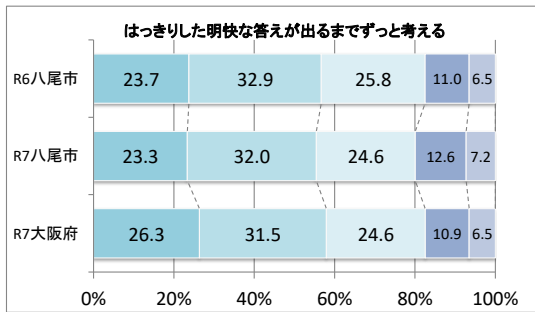
- 「切り替え」に係る「休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる」の肯定的回答の割合は、昨年度の平均よりも高い結果となった。
- ◆「切り替え」に係る残り2つの設問の肯定的回答の割合は、昨年度および大阪府の平均よりも低い結果となった。
- 「落ち着き」に係る「自分の気持ちを態度や表情に出す」「つらい気持ちになることがあったときは、態度や表情に出す」の設問の肯定的回答の割合は、昨年度の平均よりも高い結果となった。
- ◆「落ち着き」に係るすべての設問の肯定的回答率の割合は、昨年度および大阪府の平均よりも低い結果となった。
- ただし、「自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している」「イライラを感じるときは、考え方を変えて落ち着いていられるようにする」「自分によいことがあったとき、その気持ちを態度に出さない」についての否定的回答は、感情表現が豊かである喜怒哀楽を素直に出せているといったプラス面に捉えることもできる。

好奇心

色々なことへの興味や関心



自分の疑問に対する答えを求める力



【好奇心について】

- ◆「色々なことへの興味や関心」に係るすべての設問の肯定的回答の割合は、全て昨年度および大阪府の平均を下回る結果となった。
- ただし、「色々なことへの興味や関心」に係る設問の否定的な回答は、今ある事柄をきちんと続けられる、型や手順を重視して確実に学べる、落ち着いて過ごせるといったプラス面に捉えることもできる。
- ◆「自分の疑問に対する答えを求める力」に係るすべての設問の肯定的回答の割合は、全て昨年度および大阪府の平均を下回る結果となった。
- ただし、「自分の疑問に対する答えを求める力」に係る設問の否定的回答は、柔軟に気持ちを切り替えられる、その場の判断で動けること、興味の幅が広がりやすいなどのプラス面に捉えることもできる。